

子どもの貧困・教育支援シンポジウム「Kids' Day JAPAN in 福岡」

<登壇者プロフィール(登壇順)>

【基調講演】



佐賀県武雄市 市長
／子どもの貧困対策首長連合 会長 小松 政 氏

1976年生まれ。京都府出身(私立洛星高校卒)。
2001年東京大学法学部卒業。同年、総務省入省。大分県庁、内閣官房、福岡市役所への出向を経て、2010年総務省行政管理局副管理官を最後に退職後、同年、武雄市役所へ入職。財政課、企画課、公益財団法人東日本大震災復興支援財団への出向等を経て、秘書課長。2015年、武雄市長に就任。

【第一部 / 日本各地で教育支援活動が続ける5団体による事例紹介】



Coming Soon !

熊本県健康福祉部長寿社会局長寿福祉課 課長補佐 桑原 博史 氏 ※第二部にもご登壇

Coming Soon !



NPO法人エデュケーションエーキューブ 代表理事 草場 勇一 氏

1970年福岡県生まれ。西南学院大学経済学部卒業。
大学卒業後、大手ベンチャーキャピタルに入社し、以降20年間に亘り、ベンチャーキャピタル業界にてベンチャーファンドの設立、ベンチャー企業の投資業務・経営支援業務に関わる。自身も高校生の時に両親が離婚、母子家庭で育ち、奨学金を利用し大学を卒業した経験から、経済的な困難を抱えている家庭の子ども達に対して、ICTを活用した学習支援を行うNPO法人エデュケーションエーキューブを立ち上げる。
ベンチャーキャピタルで得た経験や起業家ネットワークを活かし、ソーシャルベンチャーとして子どもの貧困や貧困の連鎖という社会課題の解決を目指している。



NPO法人いるかねっと 代表理事 田口 吾郎 氏 ※第二部にもご登壇

自身が大学生の時、地元である市営団地から「大学進学者が一人もいない」ということに大きな疑問を持たれた田口氏は、企業(株式会社リクルート、楽天)、被災地でのボランティア活動を経て地元に戻り、親族の会社で働く中で、市営団地に暮らすひとり親家庭と接する機会が増えていきました。

「子どもの将来へのあきらめ」を耳にする事が多くなり、貧困の連鎖解消のための学習支援事業の必要性を痛感し、下山門団地自治会、公民館長、民生委員会とともに、2014年、NPO法人キッズドアのサポートのもと、マナビバ運営委員会を設立されました。
団体の独自事業において、2014年マナビバ西、2015年天神マナビバ、2016年キッズカフェ・タベルバを展開。2016年12月、福岡県「ふくおか共助社会づくり表彰」を無料学習会マナビバが受賞されました。



全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 幹事

／公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 代表理事 今井 悠介 氏

1986年生まれ、兵庫県神戸市出身。小学2年生の時に阪神・淡路大震災を経験。関西学院大学在学中、チャンス・フォー・チルドレンの設立母体であるNPO法人プレーンヒューマンティニーで不登校の生徒の支援に関わる。卒業後、株式会社公文教育研究会(KUMON)に入社し、学習教室のコンサルタントとして勤務。その後、東日本大震災を契機に、チャンス・フォー・チルドレンを設立し、代表理事に就任。



全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 幹事

／NPO法人3keys 代表理事 森山 誉恵 氏 ※第二部にもご登壇

1987年生まれ。慶應義塾大学卒業後、子どもたちの生まれ育った環境に寄らず必要な支援が行き届くことを目的としたNPO法人3keysを設立・現代表理事兼職員。東京都共助社会づくりを進めるための検討会委員。全国子どもの貧困・教育支援団体協議会幹事。現代ビジネス「いつか親になるために」連載をはじめ、子どもの格差の現状を講演・執筆・メディアなどで発信中。

【第二部 / パネルディスカッション「子どもの貧困の現状と私たちにできること」】



【ファシリテーター】

全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 代表幹事

／NPO法人さいたまユースサポートネット 代表理事 青砥 恭 氏

松江市生まれ。元埼玉県の高校教諭。現在、明治大学で講師(教育学)を務める。2011年、居場所のない若者を支援する「NPO法人さいたまユースサポートネット」を設立。著書に「ドキュメント高校中退～いま、貧困が生まれる場所～」など、共・編著に「若者の貧困・居場所・セカンドチャンス」、「ここまで進んだ！格差と貧困」などがある。



【パネリスト】

NPO法人そだちの樹 スタッフ / 弁護士 / 西南学院大学 非常勤講師

／NPO法人子どもNPOセンター福岡 理事 安孫子健輔 氏

1983年山形県南陽市生まれ。一橋大学法学部卒、九州大学法科大学院修了。NPO法人そだちの樹のスタッフとして、家族と暮らせない子どもや虐待を受けた子ども、非行のある子どもの権利擁護に携わっている。



【パネリスト】

全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 幹事

／NPO法人Learning for All 代表理事 李 炯植 氏

東京大学教育学部卒業。自身の生まれ育った地域での原体験から教育格差・子どもの貧困に問題意識を持つ。大学生当時、認定非営利活動法人Teach For Japanの1事業であったLearning for Allに参画し、常勤職員として全国の学習支援事業の統括業務に従事。その後、特定非営利活動法人Learning for Allを設立、同法人代表理事に就任。